



まつもと ゆきよし  
松本幸喜 議員

## 交通 乗合タクシー 「たまGO」の 周知方法は

### 「私の視点」

10月より「たまりん」から「たまGO」に移行し、公共交通の利用方法が大きく変わる。混乱を防ぎ、利用を促進するためには、利用方法の周知をきめ細かく行う必要がある。

## 答弁(町長) 小規模の説明会を各地区で行っていく

問 各地区に説明会等を行う計画はあるのか。

答(町長) 説明会の希望があれば、人数に関係なく出向くという案内をしており、いくつかの団体から既に説明会の予約をいただいている。スマートフォンを持っているか否かや、自分の地域のどこに乗降地点があるかといった質問が想定されるため、小規模での説明会のほうが参加者にとってわかりやすいと考えている。行政区や居場所、長寿会などの既存の団体と連携を図りながら、継続的に説明会を実施していく予定である。

問 停留所の位置・選定基準はどうか。

答(町長) 停留所が自宅から直線距離にして300メートル以内に設置されるよう、既存のたまりんの停留所68地点、路線バスの停留所の共有で58地点、新規に64地点、その他伊勢崎市民病院を加えて、全191地点の乗降地点を設定している。300メートルという距離は、都市部の路線バスの間隔から採用した。

## 上陽小学校の「インクルーシブ教育\*」

問 保育所や幼稚園のインクルーシブな環境について教育の観点からどう評価するか。

答(教育長) 小中学校と比べて、幼稚園や保育所では、発達差や障害の有無だけでなく、外国籍の幼児等も同じ環境で生活しており、結果的にインクルーシブに近い学習環境が生まれている。様々な特徴を有した幼児たちが、インクルーシブな環境の中で互いを尊重しながら生活することは、大変有意義だと認識している。

問 玉村町教育委員会及び上陽小学校の関わり方は。

答(教育長) 玉村町教育委員会は、上陽小学校が主体的にインクルーシブ教育の研究・実践が進められるよう、計画・実施の調整や町の方針を踏まえた助言を行う。上陽小学校は、県立伊勢崎特別支援学校と共に、研究・実践の当事者として実現可能な組織内容を構想し、試行実践していく。

前例のない「インクルーシブ教育」の取組のため、結論を急ぐことなく、じっくりと協議を重ねながら、県の研究推進に協力していきたいと考えている。

\*インクルーシブ教育…障害や病気の有無、国籍や人種、宗教、性別といった違いを超えて、全ての子どもたちが同じ環境で一緒に学ぶ教育



お手元に「たまGO乗り方ガイド」ありますか？



町HPからも見られます



あらい けんじ  
新井賢次 議員

## 河川 滝川の 土砂・雑草等、 早急に対応を

### 「私の視点」

町の中央部、住宅地を流れている滝川(用水)は「世界かんがい施設遺産」天狗岩用水の一翼を担っている。「磨けば光る」魅力ある自然遺産を守るべきだ。

## 答弁(町長) 適切な河川管理を県に要望していく

問 滝川の河川内に土砂の堆積、樹木・雑草が繁茂し、水路幅を大きく遮っている箇所が随所に見られる。多発している線状降水帯などによる集中豪雨被害を考えると、早急な対応が必要だ。

答(町長) 管理は群馬県であるため、伊勢崎土木事務所に確認をした。「河川の流下を阻害するものや護岸等の河川構造物に悪影響を及ぼすおそれのあるものについて優先的に対応する。河川内の雑木等については状況を確認し、優先順位をつけて伐採している。堆積土については、堆積率が20%を超えた場合にしゅんせつ等を行う方針である。引き続き、河川巡視や点検により状況変化を監視し、必要に応じて除去する」との回答である。今後も県と連絡を取り合いながら、適切な河川管理を要望していく。

問 滝川は「世界かんがい施設遺産」に登録されている天狗岩用水の下流域に位置し、施設遺産の一端を占めている。玉村町にとって貴重な地域資源であり自然遺産である。整備された滝川緑道などを歩くと本当に気持ちいい。滝川周辺一帯のさらなる環境整備により、町の中心地に新たな魅力が創出できると思うがどうか。

答(町長) 天狗岩用水の「世界かんがい施設遺産」登録は、玉村町にとっても非常に魅力発信できる自然遺産として意味がある。散歩などで町民の多くが親しめること、言葉だけではなくて現実にそういうものとして認識ができるぐらいきれいな環境を取り戻すことは、町にとっても非常にプラスになることだと思うので、土木事務

所にも働きかけていきたい。

## ぐんま5つのゼロ宣言

問 達成には、まず、町民に気をつけてもらうことが大事になる。特に、プラスチックごみゼロ、食品ロスゼロの2つは、ゼロ宣言することにより、町民の目に触れる機会が増え、意識が高まると思うがどうか。

答(町長) 一つ前に進めることで、町の姿勢を明らかにすることは大きな意味がある。自発的に町から発信することが大事であり、行政の歩むべき道だと思っている。進めていきたい。

## こんな質問もしています

・「子どもの貧困」による教育格差の解消について



河川内に土砂が堆積、雑草が繁茂し水路幅を大きく遮っている。

